

## 総合的な学習の時間 学習指導案

呉市立仁方中学校

- 1 日時 令和元年9月13日(金) 第4校時(11:45~12:35)
- 2 学年・組 仁方中学校第2学年1・2組 計43名(男子22名, 女子21名)
- 3 場所 体育館
- 4 単元名 職場体験

5

### ○ 単元について

本単元は、1年生の「キャリア探求学習」で身近な職業について調べ、発表する学習の上に位置付けた単元である。職場体験を通して、地域で働く人の様々な思いや考え方を感じ取り、将来の働く自分を見通し、その成果を生活の中で生かそうとする資質能力や態度を育てることを目標としている。また、現在の自分を見つめ、新たな課題を見つけることが期待される。さらに、事前・事後の指導としては、事前にアンケート調査やマナー講座、事後に異年齢交流や文化祭での発表を計画している。本単元で身に付けた課題は、3年生でのキャリア探求、進路学習へとつながる。

### ○ 生徒について

本学の生徒は、1年生の総合的な学習で「キャリア探求学習」として仕事調べを行っている。身近な大人に聞き取り調査をし、聞き取り調査をした結果をまとめ、グループごとに分かれて発表し合い、働く上でのやり甲斐や大変さを学習している。この時の発表ではほとんどの生徒が紙面を見つつ発表しており、相手に伝わりやすい話し方や方法を考えている生徒は少人数であった。5月に行った生徒アンケート調査では、次の結果が得られた。

質問内容	肯定的回答 (%)	否定的回答 (%)
将来の夢や目標をもっている。	69.8	30.2
自分には良いところがある。	81.4	18.6
将来、仕事や生活の中で役に立つと思うから勉強しています。	83.7	16.3
自分の良さは周りから認められていると思います。	76.7	23.3

この結果から、生徒たちは69.8%の生徒が夢や目標を持っているが、30.2%の生徒は未だ夢や目標が定まっていない状態であることがわかる。また、自分の良さが周りから認められていると思うという質問に対する肯定的回答は76.7%であり、否定的回答は23.3%であった。このことより、自信がなく主体性が低い生徒もいるということがうかがえる。さらに、別のアンケートにおいて、働くうえで必要な資質、能力はどのようなものであるかという質問に対しては、コミュニケーション能力、時間・ルールを守る力、忍耐力、計画力、体調管理能力などの回答があった。普段の学校生活では、挨拶や礼などのマナーは身に付けようとしている。しかし、敬語などの言葉遣いは意識できていないことも見受けられる。

### 指導について

本単元の指導に当たっては、職場体験の事前学習における生徒自身の勤労観、職業観と、事後の勤労観、職業観とのズレを感じさせ、将来の進む進路に対して必要な力や課題を自ら発見させるようにしていきたい。また、職場体験の事前学習でお互いの価値観を理解する場面や、面接指導による評価でほめる機会を増やしていくことで、自信をもたせ、主体性をのばしていきたい。さらに、実際に学んだことや感じたことを、パワーポイントや模造紙にまとめ、発表し、自分たちの考え方や思いを文章にまとめ整理させる表現力もつけさせたい。また、異年齢交流や文化祭の発表を通して、相互交流・相互評価を行うことで、よりよく伝えるための表現方法について考えさせていきたい。

## 育成を目指す資質・能力

- ・知識及び技能
- マナー講座を通して、社会で必要となる守るべきマナーやルール、礼儀がわかる。(知識、公德心)
- ・思考力・判断力・表現力等
- 自分の考えや思いを伝える際に、伝える方を工夫し、より伝わりやすい方法や手順で伝えることができる。(思考力・表現力)
- ・学びに向かう力・人間性等
- 働くために必要な力は何かを考え、体験を通して将来への目標や夢をもち、今の自分ができることは何かを考えている。(課題発見・解決力、公德心、主体性)

## 6単元の目標

- ・自分の適性を知り、将来の目標や夢を決めるための参考にすることができる。
- ・職場体験を通して、働くために必要な力は何かを学び、自分に将来必要となる力を考える。
- ・社会で必要となるルールやマナーを知り、身に付けようとする。
- ・多くの人(小学生、地域の方)を対象に、学んだ内容を自分の言葉で分かりやすく伝えることができる。

## 7単元の評価規準

- ①自分の良さを理解し、他者を尊重しようとしている。【自他理解力】
- ②社会人としての基本的なマナーや言葉遣いを身に付けている。【公德心】
- ③職業に関する情報を収集し、自分の進路や生き方を考えている。【課題発見・解決力】
- ④働く上で必要な力や、働くことの意義を理解し、自ら進んですべきことを見つけ出している。  
【主体性】
- ⑤仕事上の役割や意義を理解し、自己の進路や生き方を考えている。【課題発見・解決力】
- ⑥職場体験で得た知識、技能を相手にわかりやすく伝えるための工夫をして発表している。【思考力・表現力】

## 8単元の指導計画(全57時間)

段階	時数	学習内容	評価基準(評価方法)
課題の設定	1	○1年生の学習を振り返る。 ・キャリア学習で行った、身近な大人の職業について、仕事のやりがいや、大変なことをふりかえる。アンケート実施。	③・④ (ワークシート)
	1	○自分を見つめる。 ・自分の良いところを自己評価だけでなく、他己評価を通じて知る。	①・③ (ワークシート、話し合い活動の観察)
	1	○パスカルを通して自分の適性を知る。 ・パスカルの結果から、自分の仕事に対する適性を知る。	③・⑤ (ワークシート)
	1	○働く上で大切にしたい価値観(働く目的)を共有する。 ・働く上で大切な価値観をランク付けし、その理由をお互いに発表し合う。	①・④ (ワークシート、話し合い活動の観察)
	1	○現段階での働く上で必要な力(能力)は何かを考え、共有する。 ・働く上で必要な力とは何か、働くとはどういうことか、現段階での考えをまとめる。	④ (ワークシート、話し合い活動の観察)
情報の収集	1	○職場体験に向けて ・決意書作成を通じて体験志望理由を明確にする。	④(決意書)
	2	・ゲストティーチャーを呼び、マナー学習を行う。また、働く上でのモットーややりがい、必要な能力をインタビューする。	② (ワークシート、感想文)
	2	・校長面接を行い、職場体験の事前訪問での取材方法やマナーを学習する。	②(ワークシート、学校長による他者評価)

	3 30 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験事前訪問の計画・準備（質問事項の確認，取材方法の確認，自己紹介の練習，電話のかけ方）を行う。</li> </ul> ○職場体験活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動前の最終確認</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働く上で必要な力（能力）は何か。働くとはどういうことか，やりがいや大変なことを学ぶ。</li> </ul>	② （ワークシート，行動観察） ② （行動観察） ②・③・④・⑤ （行動観察，感想文 職場体験先の人による 他者評価）
整理・分析	2 4 1	○お礼状を書く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験を通しての発見や気づきを整理し，下書きをして，清書する。働く上で必要な力（能力）の事前と事後の比較をさせる。</li> </ul> ○異年齢交流での発表に向けて <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験を通して学んだことや感じたことを，小学5年生にわかりやすく伝えるための構成や方法を考え，準備をする。</li> <li>・プレ発表を行い，わかりやすく説明するためにはどうすればいいか，課題や改善策を見つけ，お互いに伝え合う。</li> </ul> 【 本 時 】	④・⑤・⑥ （お礼状，ワークシート） ④・⑥ （ワークシート，話し合い活動の観察） ⑥ （話し合い活動の観察，評価カードによる生徒の相互評価）
まとめ・表現	2 1 1 1	○異年齢交流で発表する。 ○文化祭での発表に向けて <ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢交流での発表を，も受けう一度学年で発表し，文化祭での発表に向けた改善点を見つけ，改善する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭に向けて，職場体験で学んだこと，感じたことのレポートを作成する。</li> </ul> ○文化祭で発表する。	④・⑥ （小学生による他者評価，発表内容と表現方法） ④・⑥ （評価カードによる生徒の相互評価，発表内容・方法） ④・⑥ （レポート） ①・⑥ （行動観察，感想文）
ふり返り	1	○ふり返り <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け入れ事業所からの反応や，文化祭での発表に対する保護者，地域の方からの感想を基に，自らの良かった点や改善点に気づき，次の単元への意欲を高める。</li> </ul>	④・⑤・⑥ （感想文，自己評価）

## 9 本時の目標

職場体験を通して学んだこと，感じたことを小学5年生にわかりやすく説明するために，よりよい表現方法を指摘し合うことができる。

## 10 本時の展開

学習活動	指導上の留意点 (○) (「努力を要する」状況と判断した児童への支援●)	○評価規準 (評価方法) <b>【資質・能力】</b>
1 準備した発表内容を振り返る。 2 本時のねらいを確認し、見直しをもつ。(2分)		
めあて：他者の発表を聞いて、わかりやすい発表にするための方法を伝え合おう。		
3 6グループに分かれ、発表の準備、練習を行う。(8分)  4 職場体験学習での体験内容や学んだこと、気づきを発表し合う。(30分)	○パワーポイントで発表するグループ、はスライドのタイミングを確認させる。 ○体験をさせるグループは、体験させる内容を確認し、練習させる。 ●発表する際の立ち位置を確認させておく。  ○2グループごとに3か所に分かれ、それぞれ15分ずつで発表し合う。 ○グループごとの司会進行は生徒に行わせる。 ●発表を聞くときの視点を伝え、メモを取らせることで、より伝わりやすい表現、発表にするためにはどうしたらいいかを考えさせる。 ●発表を見て、自分のグループの発表方法や発表内容の違いを比較させる。	
(発表を聴くときの視点)  ・声の大きさ ・話すスピード ・話す内容 ・表情  ・文字や図の大きさや色 ・体の向き ・発表時間		
5 改善すべき点を伝え合う。(6分)	○ワークシートのメモをもとに、改善点をグループで共有する。	○より伝わりやすい発表にするためにはどうすればいいか、課題や改善策を伝えている。 (評価シート、話し合い活動の観察) <b>【思考力・表現力】</b>
(予想される生徒の反応) ・もっと声の大きさを大きくする。 ・顔を上げて聞いている人を見ながら話す方がいい。 ・内容を増やす方がよい。 ・体験するとき教える人を増やした方がいい。 ・話すスピードをゆっくりした方がいい。 ・小学生がわかる言葉に直した方がいい。 ・写真や資料の数を増やした方がよい。 ・クイズを入れた方が面白くなる。 ・立ち位置を決めて、話す人以外は座っている方がいい。		

6 本時の学習を振り返り，次時の異年齢交流発表に向けての課題を知り，改善策を考える。(4分)	○発表に向けての見通しをもたせる。	
--	-------------------	--

**【引用・参考資料】**

文部科学省：中学校学習指導要領（平成 29 年度）解説 総合的な学習の時間編 ，平成 29 年 7 月

**<成果>**

- 職場体験中に自分ができることは何かを考え，主体的に行動することが出来た。【主体性】
- 働く意義や働くために必要な力を，職場体験を通して実感し，それを相手に伝わるよう工夫して発表することができた。(働くうえで必要な資質，能力はどのようなものであるかという質問に対する回答：思いやり，コミュニケーション能力，忍耐力，体調管理能力，時間・ルールを守る力，先を見通す力，最後までやりきる力，正確さ など)【思考力・表現力】
- 社会で必要となる基本的なマナーや言葉遣いを学び，職場体験に生かすことができた。【公德心】

**<課題>**

- 職に就くために必要なことは何かを調べる中で，働く上で必要な力は何かという問いを生徒から出させられるようにする。【課題発見・解決力】
- 職場体験後，自らの進路をどのように決めるかなど，これからの自分に必要なことを考える，課題発見の場を設けるようにする。【主体性】